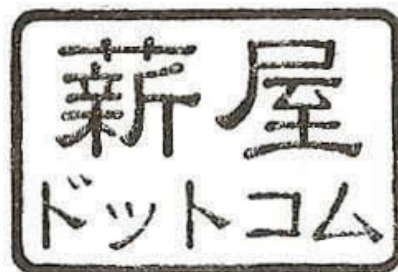


薪屋ドットコム

ニュースレター



2009年1月2月2日号
(満月 16時30分)

目次

- 失敗しない火のつけ方
- 寒くなると火がつき易くなる、その理由は？



こんにちは、館脇信王丸です。

だいぶ肌寒くなってきましたね。薪ストーブが活躍する季節になりました。

すでに火を焚いていらっしゃる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

何を隠そう、うちは10月中旬から焚き始めて、今は毎日焚いています。・・・というか、夜は太っとい塊の薪を入れますんで、朝まで熾火（おきび）が残っています。で、朝に火を点（つ）けるのが本当にラクです・・・って、既に火だねがありますもん（笑）。

さて、そうは言いながらも、今回は薪ストーブの火をつけるコツについて、初心者の方へ向けにお話しします。

失敗しない火のつけ方

実際に火をつける前に知っておいて欲しいことがあります。それは、

「薪ストーブに火をつけるのは、焚き火よりもずっと簡単」
だということです。

その理由は、薪ストーブは空気の流れ、つまり「空気の取り入れ」と「煙の排気」のコントロールがものすごく良くできるように設計されているからです。焚き火よりもずっと火がつきやすく、火力調節もしやすいのです。

やり方さえわかっただけじゃあ、外で焚き火をする（という経験はほとんど無いかもしれませんが）よりも、遙かにカンタンなんです。だから、薪ストーブに火をつけるのを気楽に考えてくださいね。

それでは、さっそく始めましょう！

1. まずはストーブ内に薪をセットします。

①ストーブ内に薪を1本置きます。真ん中ではなく少し脇におくのがポイント。

②ストーブ内の真ん中に着火材を置きます。

※着火材の他に、スギの枯葉、新聞紙を丸めたもの、牛乳パック等でもOKです。

※ビニールコーティングされた紙、液体燃料等は絶対に使用しないでください！

③着火材の上に「焚きつけ」を3、4本のせます。

※焚きつけというのは、薪を細く割ったものです。乾燥したもので、広葉樹よりもスギ（杉）やマツ（松）の方が燃えやすいです。

※くっつけて並べないで、バツェンに重ねるようにします。こうすると空気の通りが良く火がつきやすいです。

④「焚きつけ」の上に薪を1本載せます。

①で置いた薪に立てかけると良いです。薪と薪がベタッとくっつかないようにするのがポイント。

以上でセット完了です。
いよいよ火をつけます！

次ページに続きます→

と、その前に。

2. ストープの空気調節を全開にします。
 - ・ 空気取り入れ口
 - ・ 煙突弁（ダンパーともいいます）これらを全て全開にして、空気の通りを
めいっぱい良くします。
※触媒付きの場合は、触媒を通さない方
に弁を切り替えて下さい。

3. いよいよ点火です。
ライターかマッチで着火材に火を付け
て、すぐに扉を閉めます。（煙が出てこ
ないように）
※扉は、実はほんの少しだけ開けた方が
良く燃えます。扉から煙りが出てこな
いように、扉をいったん閉じてから少
しだけ開けてみてください。炎が勢い
よく上がる所で止めてください。（面
倒なら完全に閉めてもOKです）

ここで注意です。

**火をつけてからは薪をいじる必要
はありません。着火材→焚きつけ→
薪の順番に火が回っていきますの
で、じっと見ているだけで良いで
す。**

もし火が消えてしまったらやり直しで
す。火が消えるとメゲるので、最初は着火
材を多めに使うのもテです。

4. 火が薪に移ったらそのまま様子を見ま
す。
薪全体が炎におおわれて勢いが強くなっ
たら、空気調節を少し絞ってみて下さ
い。絞りすぎると火が消えてしまいま
すので、中くらいにして様子を見て下さ
い。
※触媒付きの場合は、触媒に通す方に弁
を切り替えます。

薪全体が燃えて、赤い熾火（おきび）が
できれば空気調節を完全に絞っても大丈夫
です。

熾火が出来てしまえば、火が消える心配

はありません。お好みで薪を載せるだけ
です。

火のつけ方は以上ですが、最初は戸惑
うかもしれません。

当店のお客様の中には、薪ストーブ歴2
0年以上の方もいらっしゃいますし、私自
身も小学生の頃から薪ストーブと共に暮ら
してきましたが、ベテランも私も、最初の
頃はうまくいかずに何度も着火をやり直
したものです。その試行錯誤から編み出し
た方法が上記のやり方です。ほぼ間違いな
く、100%火がつくと思います。

とはいえ、何でもそうですが、最初は練
習だと思って気楽にやってみてください。
ちょうど自転車に乗り始めた時のように。

あと、薪に炎がなかなか燃え移らないこ
とがあります。

一番の原因は、薪が湿っていることで
す。未乾燥の薪を燃やしても暖かくないし
煙突が詰まりやすいので、湿った薪は使わ
ないでください（来年に使えます）。

※当店の薪は十分に乾燥済みですので、安
心してお使いください。

さらに、煙突弁（ダンパー）を全開にし
ても煙が出てくる場合は、煙突の詰まりが
考えられます。煙突が詰まっていたは満足
に焚けませんので、すぐに煙突掃除の手配
をしてください。（薪ストーブ屋さんに依
頼すればやってくれます）

**実は、寒くなってからのほうが火を
つけやすくなります。**理由の一つに、
夜に太っとい薪を入れておけば翌朝まで熾
火（おきび）が残りますので一から火をつ
ける必要はなくなります。さらに、外が寒
くなるほど、煙突からの排気（吸い出し）
が強くなりますので、火がつきやすくなる
のです。

ともあれ、今のうちに確実に火をつける
練習をオススメします。これが出来れば薪
ストーブ愛好家の仲間入りです。

それではまたお会いしましょう！